

訪問入浴介護

訪問入浴介護
って何？

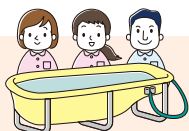


清潔で気持ちよく自宅での生活を送ってもらうため、自宅浴槽での入浴が困難な要介護・要支援認定を受けた方などのもとへ、介護職員及び看護職員が訪問入浴車で利用者宅へ伺い、浴槽を提供して入浴の介助を行うサービスです。

※介護職員や看護職員がサービス提供する「訪問介護」や「訪問看護」は自宅の浴槽で入浴の介助を行うサービスであり、「訪問入浴介護」とは別のサービスです。

どんな人・どんな時に使うの？

こんな方



- 家族のサポートだけでは自宅の浴槽での入浴が困難な方
- 移動困難や寝たきりなどで入浴が困難な方
- 医療器具(胃ろうやカテーテル)を使用中の方
- 通所サービスが苦手な方で自宅で入浴したい方
- とにかく自宅で過ごしたい方

など

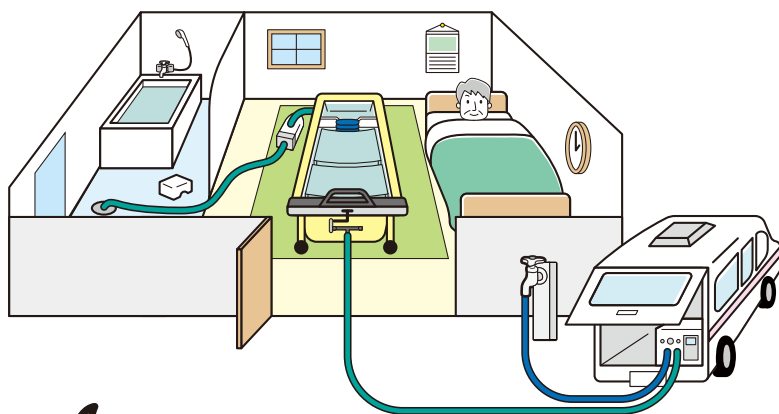
こんな時



- 事前に決めた日時で定期的に利用します。
※週1～2回の利用がほとんどです。
- ショートステイから一時的に帰宅したとき、
一時的な単発での利用も可能です。

など

訪問入浴車の仕組みってどうなってるの？



問 給湯設備がなくても大丈夫？

答 条件により様々ですが、4階程度まで入浴車から給湯できます。

問 入浴スペースはどれくらい必要？

答 たたみ1.5畳ほどのスペースがあれば入浴可能です。家族の負担なく、机などの移動はスタッフが行います。

問 駐車場所がなくても大丈夫？

答 自宅前で入浴機材を下ろし、近隣の駐車場に駐車します。

男性の
看護師や介護士も
います

まかせて、
安心!!



看護職員(ナース)

入浴前後の健康チェックを行い、体への負担に注意を払います



介護職員(オペレーター)

運転業務、機材管理、移動介助など、リーダー的な役割を担います



介護職員または看護職員(ケアエイト)

準備から後片付けまで、全体的な調整を行います

専門のスタッフ3名(介護予防の場合は2名)でサービス提供にあたり、転倒などにも配慮しています。また、利用者の羞恥心への配慮(裸でケアを受けることから、隠す・覆う・異性スタッフは一時的に退室するなどの工夫)もしています。温かい声掛けと丁寧なケアにより、ゆったりとした時間が過ごせます。



訪問入浴サービスの流れ



自宅で借りるもの

●電気コンセント ●水道 ●排水場所

利用者にて準備するもの

●着替え ※バスタオルやシャンプー・ボディソープなどの準備は、事業所によって異なります。

⑨片付け

使用した機材を片付け、移動した家具等を元の位置に戻します。

⑧入浴後の健康チェック

入浴後も看護職員が体調確認のため健康チェック(体調・脈拍・血圧・呼吸の測定)を行います。

⑦ベッドへ移動

着衣介助を行い、髪を乾かします。

⑥ゆったり入浴

湯温はきめ細かく管理し、もっとも快適な温度まで徐々に温度を上げていきます。

⑤洗顔 / 洗髪 / 洗身

本人の希望に沿ってスタッフが髪や身体を洗います。
※身体の状態によって、清拭や部分浴も可能です。

④浴槽へ移動

脱衣介助を行い、浴槽へ移動します。

③入浴準備

浴槽などの入浴に必要な機材を搬入・設置をします。

②入浴前の健康チェック

入浴前に、看護職員が身体状況を確認し、健康チェック(体温・脈拍・血圧・呼吸の測定)を行います。

①訪問

決められた日時に、訪問入浴車で自宅までお伺いいたします。

所要時間

約 45分

利用料金の目安(1回あたり)

1割負担の場合 要介護の方 ー 約1,270円
要支援の方 ー 約860円

※事業所の料金体制や制度改正により金額が異なる場合があります。(R6年度時点)
※訪問入浴にかかる水道・光熱費等の費用は利用者負担となります。

介護保険証はお持ちではなく、障がい者手帳をお持ちの方へ

身体障がい者の生活を支援するため、同様のサービスを提供しています。詳しくは、山形市障がい福祉課や相談支援事業所にお問い合わせください。

住み慣れた自宅で、自分で生活続けることをお手伝いします。

まずは、担当の地域包括支援センターや居宅介護支援事業所(ケアマネジャー)へご相談ください!

要介護状態区分や、身体の状態、家庭の事情、希望に合わせた利用方法、利用金額と一緒に検討し計画してもらいましょう。

発行
(R7.1月)

山形市役所(長寿支援課)

〒990-8540 山形市旅籠町二丁目3-25

TEL.023-641-1212(内線564・565)

協力:訪問入浴介護事業所連絡会

山形市基幹型地域包括支援センター

(山形市社会福祉協議会内)

〒990-0832 山形市城西町二丁目2-22

TEL.023-674-0804(直通)

